

図書館分会・図書館協力員労働組合

「練馬区の図書館をより充実させるために」実施計画(案)

「練馬区の図書館をより充実させるために」(以下、「充実させるために」と略す)の包括的な考え方に基づいて実施計画を策定する。

- 1.平成18年度(2006年度)以降、概ね3ヵ年をかけて承認された事業・サービスの拡充・実現を図るものとする。
- 2.そのために、人員を以下のように、増減員していくものとする。

年度 館	常勤増減数	人件費増減	協力員増減数	人件費増減	差し引き人件費	労働時間(週)増減	備考
18年度(2006年度)							
地区館(6)	-12	-10200	19	6042	-4158	128	開館時間延長、館内整理変更、総合児童青少年担当設置
小規模館(4)	-8	-6800	25	7950	1150	480	
光が丘	-1	-850	8	2544	1694	216	
小計	-21	-17851	52	16536	-1315	824	
19年度(2007年度)							
地区館(6)	-15	-12751	15	5047	-7704	-120	障害者サービス集中化、総合資料担当設置。(新電算システム稼働)
小規模館(4)	-5	-4250	5	1781	-2469	-40	
光が丘	-1	-850	11	4150	3300	312	
小計	-21	-17851	31	10979	-6872	152	
20年度(2008年度)							
地区館(6)	-25.5	-21676	28	9976	-11700	-124	業務集中完全実施、資料系の管理係へ統合、非常勤新体制へ移行
小規模館(4)	-7	-5950	8	3019	-2932	-24	
光が丘	-6	-5100	8	3197	-1904	16	
小計	-38.5	-32727	44	16191	-16535	-132	
18年度～20年度(2006年度～2008年度)							
地区館(6)	-52.5	-44627	62	21065	-23562	-116	
小規模館(4)	-20	-17001	38	12750	-4251	416	
光が丘	-8	-6800	27	9891	3091	544	
合計	-80.5	-68428	127	43706	-24722	844	

単位:人件費は万円、労働時間は時間

常勤給与は850.0401万円で計算(練馬区報2005年1月21日号、一般行政職の年間平均給与支払額より)非常勤人件費は毎年5.9%の報酬額引き上げを追求し、以下の表による(単位万円)。

18年度	318
19年度	336
20年度	356
21年度	377
22年度	400

再任用・再雇用職員は08年度に9人から0人とするものとし、減員数としては08年度に-4.5人として計上している。

- 3.図書館協力員の報酬額については、「充実させるために」では当面400万円を目標としているが、練馬区の非常勤職員制度全体との関係もあり、別途闘争計画を立て、「実施計画」とポリシー・ミックスさせて増額を追求し、新たな非常勤職員として位置づけていくものとする。
- 4.事業・サービスの拡充・実現は総労働時間数の増大に伴い、「充実させるために」に掲げるものから、優先度の高いものを順次選び実施していくものとする。
- 5.3ヵ年で人件費24,722万円の削減となり、経済的にはマイナスの影響を与えるが、これを資料費の増ほか、サービスの拡充に振り向ければ、そのマイナス幅を極力抑えていくことができると考える。
- 6.私たちの計画では図書館システム全体を順次発展させる形をとるが、それに対して区当局の案では平成18年度3館に委託を導入し、20年度までに全館に拡げるとしている。これでは、全体が参加対象となる分科会や研修などどのように運営されていくのか不明である。我々の案では移行期にも円滑な図書館運営をはかることができ、かつより充実した運営を展望できる点で当局のものより優位にある。

当局の「委託 開館日 時間拡大 組織改正実施年次計画」と比較の上、議論に参加のほどお願いします。